

ICWES16の参加報告と本法人出展のワークショップの報告です。

■開催期間:2014年10月23日(木)～25日(土)

■開催場所:ロサンゼルス、コンベンションセンター

3年に1度開催される ICWES(国際女性技術者科学者会議)は今年で16回目となり、ロサンゼルスで開催されました。今年には米国最大の組織 SWE(女性技術者協会)との共催で行われたため、参加者約8000名のかつてない規模となりました。

■本法人出展のワークショップ

◆題名:“Let’s go listen to the real intention of working women engineers.”

◆開催日時:23日 11:00～11:55

◆参加者数:110人(80席の会場に110名強の参加者で、壁際に沢山の立ち見の方、廊下から背伸びして見ている方等で一杯でした。)



開催を待つ参加者



満員の会場

◆セッション内容

パネリストによるそれぞれのお国柄を含めた「ワークライフバランス」の紹介を行いました。

- ・ Ms. Alyse Stofer (アメリカ) メディカル会社エンジニア
- ・ Ms. Holli Pheil (アメリカ) ナイキ社エンジニア
- ・ Mariene Kanga (オーストラリア) エンジニアリング企業代表
- ・ 井本郁子 (日本) 環境部門・建設部門・技術士

司会進行 菅原香代子 (INWES-J)

各国それぞれの取り組みや問題を紹介いただき、後半は質疑応答が行われました。非常に熱心で質問が続出、残念ながらタイムアウトと言う感じで終わりましたが、終了後も個人的な質問の列が延々と続きました。(詳細な内容は ICWES16活動報告その2でお伝えします。)



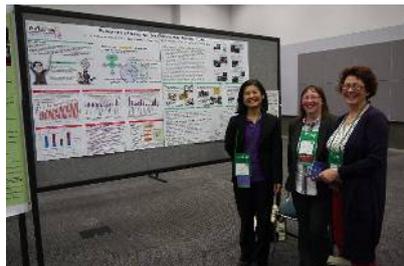
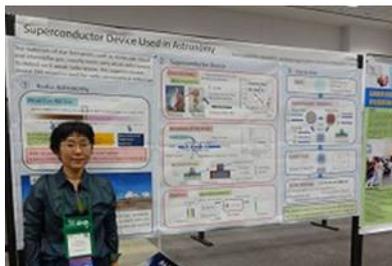
セッションの様子



終わってからも質問は続く...

■その他

- ◆会員のポスター展示(藤井由美) 自分の仕事に関する紹介を行いました。



- ◆他会との交流(JWEF)(23日夜)

近くのイタリアンレストランで、“Japan Night”と称して、ICWESに参加した他会との親睦を深めました。



- ◆SWE・ICWES 主催のバンケット(24日夜)

皆さんお国自慢の服装で参加し当会の着物姿も非常に好評で楽しい時間を過ごすことが出来ました。



ドイツのエンジニアと



コスチュームコンテスト

- ◆番外編・・・「アイスクリームスペシャル」(22日夜)

アイスクリームを頂きながら、衣装コンテストが行われました。(丁度ハロウィンの季節だったからでしょうか?)日本チームも着物で参戦しましたが入賞はならず。

今回のセッションは前回アデレードに引き続き5回シリーズのワークショップを取り入れた女性技術者同士のセッション NO.2でしたが大成功におわりました。次回はインドでの開催予定です。(NO.3)

まだ参加経験のない会員も、どうか積極的にご参加ください・・・とても良い経験となるでしょう。

■ワークショップ運営メンバー

特定非営利活動法人 女性技術士の会(JSPEW)

木村了(あいさつ)

井本郁子(パネリスト)

藤井由美(記録)

宮地奈保子(その他)

日本女性技術者フォーラム(JWEF)

菅原香代子(モデレーター)

仁田久美(タイムキーパー)